

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙 「みらい」
NO. 4052
20年5月1日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

祝！メーデー100年

おはようございます。

今日は働く人の祭典、第九一回メーデー。日本の労働者にとっては、百年目の記念すべき祭典の日です。私たちは心からこのメーデーを喜び、すべての労働者とともに祝います。

メーデーはなぜ五月一日か。その歴史です。一八八六(明治十九)年五月一日、アメリカの労働組合(AFL)が八時間労働制を求めてストライキを行い、これを獲得します。



これを受けて第二インターナショナル(社会主義者の国際組織)が、この日を国際連帯の日とする決議をおこない、一八九〇(明治

二二)年五月一日に、国際的なメーデーが始まります。これが起源と歴史です。

日本は一八九七(明治三〇)年七月五日に、日本初の労働組合「労働組合期成会」ができ、メーデーは一九二〇(大正九)年五月二日(日)に、第一回が上野公園で開かれます。参加者は

一万人、統一スローガンは、①治安警察法の死刑の撤廃、②恐慌での失業防止、③、八時間労働制、④、シベリア出兵反対でした。



戦前のメーデーは十六回開かれますが、一九三六(昭和十一)年の軍事クーデター「二・二六事件」で戒厳令、集会禁止令が出て、それ以降、開くことはできませんでした。

敗戦です。一九四七(昭和二二)年五月一日、第十八回の復活メーデーが開かれます。このとき東京の皇居前広場には四十万人が参加し、翌々日の三日には平和憲法が施行され、新たな日本の歴史が始まったのです。(数字などは「社会労働

運動大年表」から。

今年のメーデーは、百年に一度のコロナ禍のパンデミックという異常な情勢の中で迎えました。

コロナウイルスとのたたかいは「社会的隔離」が必要で、中央メーデーは中止され、長崎でも地区労のみが代表でのミニ集会となりました。残念ですが支部は代表参加をしています。

これがメーデー

の歴史ですが、当時の日本は労組やストライキや社会主義などが非合法の時代で、天皇制絶対主義と戦争や経済恐慌の時代でした。

第一回メーデーで、「二日一言」(岩波文庫、桑原武夫、元京大教授)には、「メーデーの大会の資金には、幸徳秋水の遺著の印税から提供された」と書いています。



秋水は新聞記者で社会主義者でしたが、一九一〇(明治四三)年の天皇襲撃未遂事件の大逆事件に

連座し、死刑となった人です。当時、石川啄木はこの裁判記録を読み、無実を信じ、「時代閉塞の状況」を書きます。時代は同時進行した朝鮮併合から、国民の目をそらせる国家的な冤罪でしたが、まさに真実が闇に葬り去られた時代でした。



啄木はこの社会的息苦しさを、「我々は一斉に起つて、まずこの時代閉塞の現状に宣戦すべき」と書き、また二八歳で亡くなる前年の一九一一年、「墓碑銘」で「今日は五月一日、我らの日なり」とロシアの革命家の言葉を引用し、労働祭の夢を次世代に託しました。

日本の労働者は、それから九年後の一九二〇年に第一回メーデーを開きます。参加者は秋水や啄木らの思いを秘め、志高く、以下の大会宣言を発しました。

「吾人はここに日本最初の労働祭を挙げる。労働祭は労働者の自覚と団結を表現する祝祭にして、この飲

喜は労働者のみこれを知る。吾人は万国の労働者階級と万人の自由とを絶叫する・・・」と。百年前の、労働者の苦しみと喜びの声です。

なお、この年、世界は、第一次世界大戦の反省から、国際連盟をつくりますが、おりからのスペイン風邪のパンデミックで、日本だけでも五十万人の死者を出すなど、混乱した社会の中のメーデーでした。百年目の偶然的歴史です。

私たちはメーデーの深い歴史を改めて学び、労働者の大義へ向かい一歩踏み出す。メーデー百年、団結がんばろう！

最後に、コロナ禍のメーデーの要求は、①、格差と貧困の解消、②、コロナ不況での解雇反対、③、



財界は四〇兆円、内部留保金を国民のために吐き出せ。④、国は国民の命の防衛を最優先に財政をくめ。である。コロナ禍に負けるな。仲間たち。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の高給職を正社員化を。

ゆえに、均等待遇を。ユニオンは労基法裁判に勝利した。